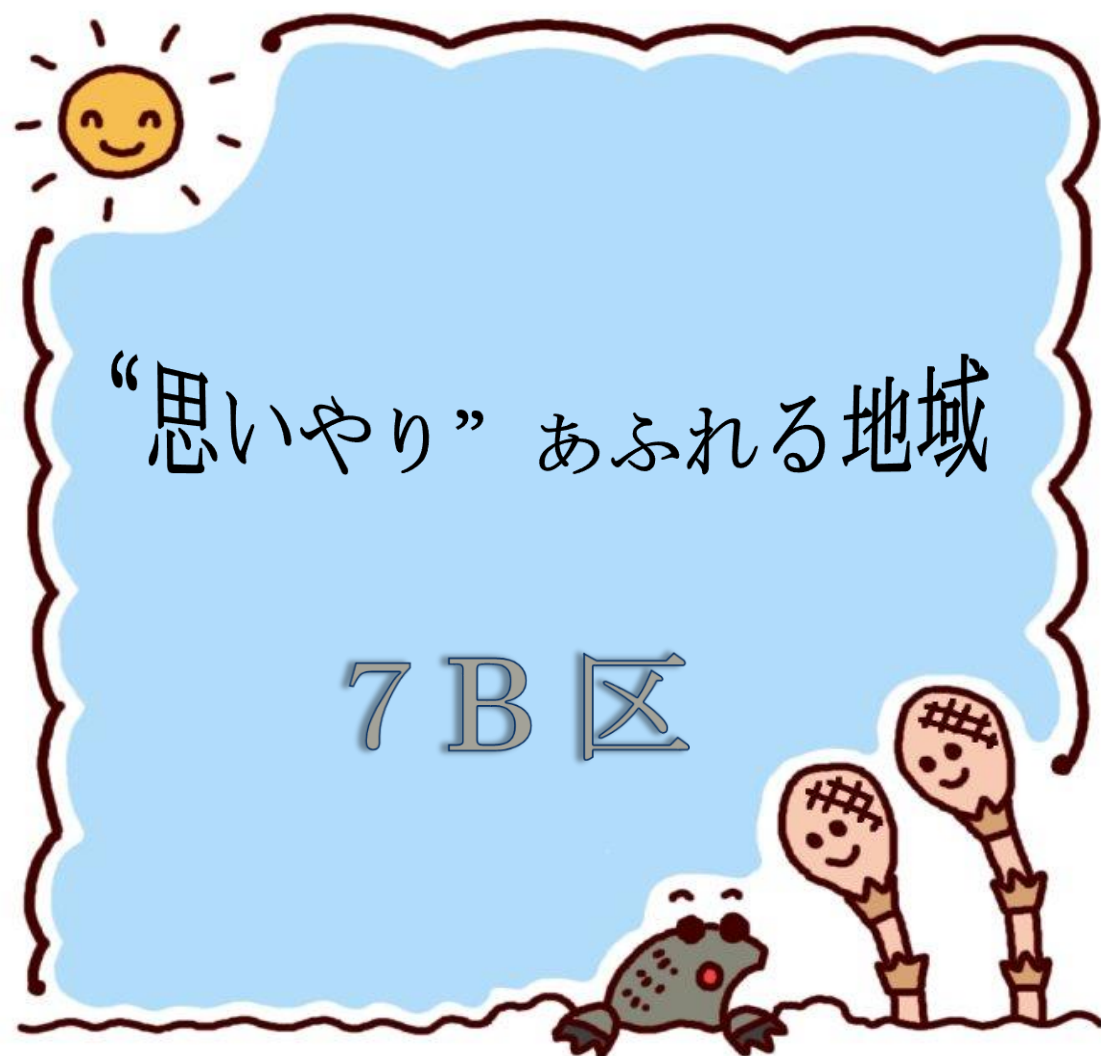


柴田町第7B区地域計画

(令和6年度から令和10年度まで)



令和6年4月

第7B区町内会

目 次

はじめに	2
I 地域の概要	3
○地域の特性		
○地域の動態		
○地域内活動団体の概要		
II 地域の現状と課題	4
○地域の特色（良い点）		
○地域の課題		
III 地域の将来像	5
IV 地域計画の基本方針（主な取り組み）	5
①生活環境への取り組み		
②福祉関係への取り組み		
③防災・防犯・交通安全関係への取り組み		
④健康関係への取り組み		
V 地域計画推進体制	7
VI 第7B区地域計画（活動計画）	8
VII 第7B区地域計画（活動計画の事業費内訳）	9
VIII 第7B区地域計画（施設計画）	10
IX 第7B区地域計画（施設計画の事業費内訳）	11

添付資料

施設計画図面

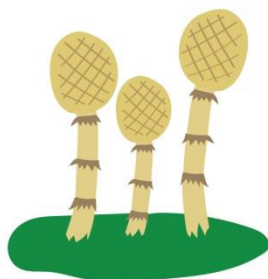
はじめに

私たち7B区は平成26年6月に当初の柴田町第7B区地域計画を策定し、地域民一体となり地域の課題解消に向けて事業に取り組んでまいりました。しかしながら継続的な事業運営については、コロナウイルスの影響を大きく受け、残念ながら大きく後退したと言わざるを得ません。以前も述べたように、私たちの生活は、多くの人たちの協力や支えあいによって成り立っています。地域の課題は、地域で解決できるものもあれば、町や県といった行政の力でなければ解決できない問題もあります。防災や防犯、交通事故防止、ごみ問題、子供の健全育成、一人暮らし高齢者の見守り、地域環境の整備等々、益々多様化し複雑化する様々な課題に対応して行くためには住民と行政が一体となってお互いに補完しあう体制を構築する必要がありますと述べてきました。

今回、平成22年4月1日に『柴田町住民自治によるまちづくり基本条例』の施行に基づき平成26年6月に策定した第7B区地域計画を改め、より現実的な課題への対応を目指しましたが、年金の60歳支給から65歳支給開始さらに今後の社会変化を見越して更なる就労期間の延長化は地域活動の働き手を現実的に失う結果を生じさせています。つまり、これまで取り組んできた地域活動の更なる発展をいくら望んでも限度があるということ認識せざるを得なくなったということです。

一方、社会全体の少子高齢化並びに世帯（家族）の縮小は社会の個人化を益々進め、町内会の役割として多様な条件を抱える住民個人を対象とした活動を担うことが益々求められています。更に、行政の側からは、分権の名により住民自治と行政の協働が叫ばれ、町内会組織の弱体化が進む中でより大きな期待が地域組織に寄せられるという矛盾に直面しています。

このような状況の中、日本は令和6年1月1日またしても石川県能登半島を震央とする震度7の能登半島地震に見舞われ、住宅被害5万7千棟、死者240人を超える大地震が発生いたしました。マイカーとコンビニとSNSがあれば、隣人との付き合いは不要と思いたい、そして災害も高齢者介護も先と思いたい私たちにとってまさにとてつもない現実を突きつけられました。このことは、いかなる地域の事情があっても、少しずつ、少しずつであっても町内会の活動を維持し、助け合い、そして支えあいながら、これまで第7B区が進めてきた地域の融和と助け合いをより一層進めるべく、子供からお年寄りまで安全・安心に暮らしてゆける地域づくりを目指して地域住民一体となり地域運営とまちづくりに取り組まなければならないと気持ちを新たにします。



I 地域の概要

本地域の特徴は何といっても「住みやすい」と実感できる地域であるということでしょう。歴史的に見れば当地区の始まりは、昭和10年代末の中曽根住宅いわゆる海軍火薬廠の高等官官舎建設に始まります。その後船岡小学校、船岡中学校に隣接する地域であること、地域内に消防署並びに柴田交番が建設されたこと、駅から徒歩15分程度と比較的通勤・通学に便利なことから、昭和40年代から住宅化が一挙に進みました。現在は、一般住宅とともに賃貸住宅、アパートも混在する地域となっており、住民の年代層も広範囲にわたっていますが、世代の変化により高齢者世帯の増加が進んでいます。

しかしながら、ここ数年高齢者1人暮らしの死亡による空き家取り壊し、並びに農地耕作者の高齢化による土地利用対策によって、新規分譲住宅の建設が進み、30代・40代の「子育て世帯」が増加する一方、さらに新規分譲の建設が進められる状況になっております。これは前段で述べた柴田町の中でも「住みやすい」環境に優れている点が分譲住宅の進展に寄与しているものと思われる。

○地域の特性

当地域は自然災害の発生が非常に少なく、交通や買い物の『利便性』に特に優れており、学校が隣接していることから教育環境にも恵まれています。このような環境の良さから、今後もずっと住み続けたいと考えている住民が多く、町内会活動も活発に行われてきました。しかしながら、「はじめに」で述べたように町内会の大きな働き手である退職者の世代が、年金支給開始の後ろ倒しによって働き手がない状況に陥っている。

○地域の動態

・人口、世帯数推移

	平成14年 3月末	平成26年 3月末	令和5年 12月末	平成26年・令 和5年比較
男性	550名	522名	528名	+6
女性	566名	580名	539名	-41
人口計	1,116名	1,102名	1,067名	-35
世帯数	395世帯	427世帯	478世帯	+51

上表から人口が減少しているにもかかわらず、世帯数は増加していることが表れており、一層核家族化が進んでいるといえる。

・年齢構成

平成26年3月末			令和5年3月末		
0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
151名	665名	286名	117名	602名	305名
14%	60%	26%	11.4%	58.8%	29.8%

年齢構成からは明らかに少子高齢化が進んでいることが判明する。

○地域内活動団体の概要

従来、地域内には、老人会、スポーツ愛好会、子ども会、婦人防火クラブなどの団体があり、活発に活動を行って来ていましたが、「はじめに」で述べた種々の状況の変化に伴って老人会の解散、スポーツ愛好会の会の減少、子供会の解散の危機、サークル活動の減少等地域内活動の縮小が町内会活動に対する大きな課題となっています。

それぞれの団体の推移を表示します。

- ・ 老人クラブ『ときわ会』（公園等整備活動）の解散
公園等整備活動は町内会全員に協力を呼びかけ、協力者にて実施
- ・ 中曾根子ども会（廃品回収・みこしパレード・球技大会）
コロナウィルスの影響により諸活動が休止状態になっているが、「役員になりたくない」という事情で参加する親が減少し会の存続が危ぶまれている。
- ・ 船岡中学校中曾根地区PTA（廃品回収）
これについても子供会と同様であり、活動自体は休止しているような状況である。
- ・ 第7B区婦人防火クラブ（炊き出し訓練・火災予防運動）
防火クラブについては、順調に活動を行っている。
- ・ 中曾根スポーツ愛好会（ソフトボール・バレーボール・卓球・グラウンドゴルフ）
ソフトボール愛好会解散、従来ソフトボール愛好会が将来の町内会活動の働き手としての人材育成に大きく関わってきたが、その道が絶たれた。
- ・ 各種親睦団体
従来親睦団体については5団体が活動していたが、高齢化等の事情により解散した団体が多く、残る団体は1団体となっている。
- ・ サークル活動（パッチワーク・詩吟・民謡・舞踊・社交ダンス・ダンベル体操・カラオケ）
詩吟・民謡のサークルは解散したものの、他のサークルは活動を継続している。しかしながらメンバーについては減少傾向にある。

II 地域の現状と課題

○地域の特色（良い点）

当地域の特色として、「住みやすい」ということが先ず大きな特色となっており、小・中学校に近接し、通学条件に恵まれ教育環境に優れており、JR船岡駅まで徒歩約15分程度と通勤面でも恵まれ、周辺には病院、買い物施設等も多数存在し、日常生活の利便性が非常に高い地域といえます。また、地域全体が平坦地で比較的的自然災害が発生しにくい地域となっています。

地域活動については、先人の努力もあり、お互いに支え合う風潮が醸成され、従来より継続的に夏祭り・敬老会・いこいの日等各行事も地域住民の協力のもと盛大に行われています。

防災面についても防災資材倉庫を設置し、防災資材の拡充を図るとともに、毎年防災訓練を実施し、住民の防災意識の高揚に努めています。

体育面では、スポーツ愛好会を中心に積極的にスポーツに取り組むとともに町の各種協議会においても優秀な成績を残しています。また、ダンベル体操や社交ダンス等健康維持に努めながらコミュニケーションの醸成を図っています。

○地域の課題

生活マナー面では、柴田町の全体的な傾向ですが、アパートも多く、大学生も多く居住していることから、日常のゴミの出し方が守られなかったり、卒業時には不要物を全て集積所においていく等のゴミの問題が多く指摘されています。しかし、この点においては、現在柴田町の地域交付金の助成を受け集積所ゴミ箱の鋼製化を進めたため、今までの課題を解消しつつあり、各集積所の管理を行っている環境美化実践委員の手数を大幅に削減したため、概ね高評価をいただいている状況です。

環境面では、耕地整理された農地に昭和40年代から宅地化が進行したことにより、道路が狭小なうえに、側溝等の未整備な箇所も存在します。また、一部ではありますが大雨時には常時冠水し、不安が募る区域もあります。

この点においては、側溝等の改修については行政側の予算の面もあり、一部回収が進められた部分があるものの、まだまだ旧態依然の状況であり、一向に改善されない雨水帯水個所の未整備も相まって苦情の対象である。

一方、生活全般として、当地域に限ったことではありませんが、生活様式の変化から隣近所のつきあいが以前より少なくなっており、少子高齢化に伴って高齢者世帯が増加している現状から安全面・災害時の対応など様々な課題が生じてきています。従来から災害時の対応についてはいろいろと協議を行って来ましたが、コロナウイルスによる諸処の活動休止や個人情報保護の観点からなかなか対応が進まない状況にありましたが、現在ようやく前に進めようとの意気込みでいます。



Ⅲ 地域の将来像（この目標は従来計画と変わりません）

☆ “思いやり”あふれる地域 7B区

- ・思いやりにあふれた笑顔の絶えない地域
- ・安全に安心して暮らしてゆける地域
- ・お年寄りを尊敬し、子どもの健やかな成長を見守れる地域

私たちの生活は、家族を基本として住んでいる地域、そして町、社会へと広がっていきます。この土地に住みたい、住み続けたいと願う気持ちは、『便利』といった生活面の利便性だけでは得られません。私たちの周りの環境、隣近所や地域に住む人たちの優しい思いやりに接し、こころの安らぎを感じるとき住み続けたいと願います。

生活様式が変化し、連帯感が希薄になりつつある今、そして少子高齢化がますます進んでゆく今、住んで良かったと感じる地域住民でありつづけるために、“思いやり”あふれる地域、7B区をつくっていきます。

Ⅳ 地域計画の基本方針（主な取り組み）

4つの取り組みで、Bestを目指す

①生活環境への取り組み

- ・思いやりにあふれた地域にするため、あいさつ・声かけ運動を進めます。
- ・地区民との情報共有を図るため町内会お知らせ版を発行します。
- ・良好な環境を保全するため、ゴミ集積所の整備を図ってきましたが、更なるゴミ出しマナーの向上と意識形成に取り組んでゆきます。
- ・道路一斉清掃活動を推進します。
- ・地域における親子の共同作業として、船岡中学校 PTA における廃品回収を実施します。
- ・地域の各年代が一緒になって活動し、楽しみながら地区民の融和を図るため夏祭りを実施します。
- ・狭隘道路、冠水常襲地域の改善策を行政と一体となり模索し、改善するよう協議を進めます。

②福祉関係への取り組み

- ・高齢者や障害者を支援する見守り・声かけ運動を推進します。
- ・生きがいのある生活を支援するため、既存団体による各種教室運営の強化について連携を図ります。

- ・敬老会を充実、「来て良かった」と言われるような敬老会を目指します。
- ・ふれあいの会「いこいの日」を実施し、高齢者の生きがいやコミュニケーションの増大を図るとともに、高齢者の体力向上のため“いきいき体操”等の健康対策に努めてゆきます。

③防災・防犯・交通安全関係への取り組み

- ・災害時において、区民が冷静に避難活動を実施できるよう、自主防災組織の強化を図ります。
- ・災害時要支援者マップを作成と支援体制を確立します。
- ・防災資器材の整備、災害時食糧の備蓄を図ります。
- ・7B区自主防災要綱に基づき、災害時における行動が円滑に行えるよう婦人防火クラブと連携し、毎年防災訓練を実施します。
- ・子どもたちの安全な通学を確保するため、降雪時に通学路歩道の除雪・融雪作業を実施します。
- ・防犯灯や交通安全設備（カーブミラー等）について、整備や修繕が必要な箇所について検討し、必要に応じて整備していきます。

④健康関係への取り組み

- ・スポーツを通じて区民の融和、コミュニティづくりを推進します。
- ・スポーツ愛好会及び他サークル活動を通して、健康増進を図ります。

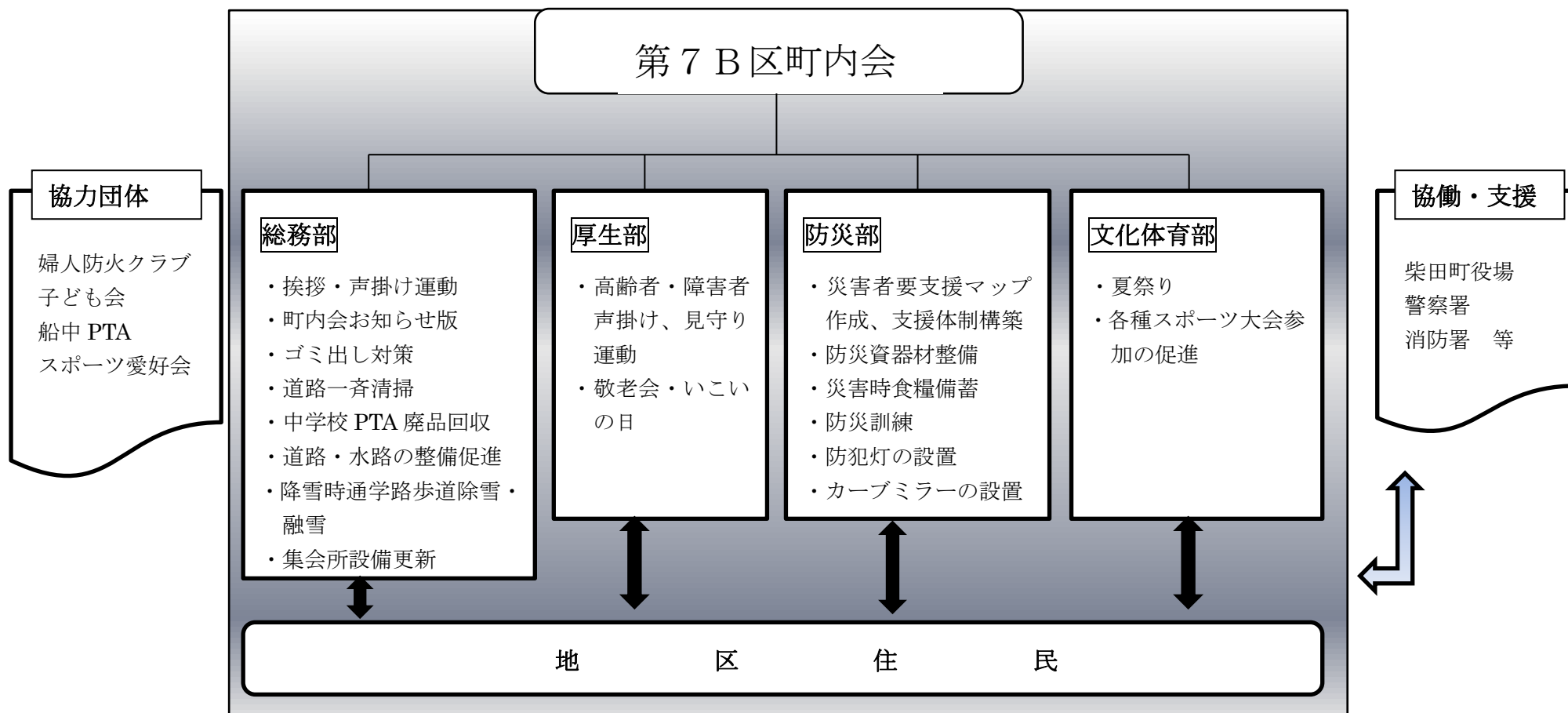
⑤集会所設備の更新

- ・エアコン・音声装置の故障による集会所設備の更新、隣接店舗（北海や）の閉店による夏祭り時の食材確保対策（冷凍庫の設置）を進める。



V 地域計画推進体制

“思いやり”あふれる地域 7



VI 第7B区地域計画

(活動計画)

項番	分野	事業名	活動主体	目標と活動内容	事業実施スケジュール(年度)					協働団体等	備考
					6	7	8	9	10		
1-1	生活環境	挨拶・声掛け運動	総務部	”思いやり”を実践するための環境づくり	○	○	○	○	○		
1-2	生活環境	町内会お知らせ版発行	総務部	情報を共有するための「町内会お知らせ版」発行	○	○	○	○	○		
1-3	生活環境	ゴミ出し対策	総務部	ゴミ出しマナーの向上を図る	○	○	○	○	○		
1-4	生活環境	道路一斉清掃	総務部	道路一斉清掃を年3回実施する	○	○	○	○	○	役場	
1-5	生活環境	船中PTA廃品回収	総務部	親子の触れ合いを深めるために、船中PTAで廃品回収を実施する	○	○	○	○	○		
1-6	生活環境	夏祭り	文化体育部	各年代が一緒になって、楽しみながら融和を図るため夏祭りを実施する	○	○	○	○	○		
1-7	生活環境	集会所設備更新	総務部	破損したり、古くなって使えない設備を更新する	○	○	○	○	○		
2-1	福祉	高齢者・障害者見守り・声掛け運動	厚生部	高齢者の1人住まいの見守り・声掛け運動を実施する	○	○	○	○	○		
2-2	福祉	敬老会事業	厚生部	高齢者に尊敬の念を表すため、敬老会を実施する	○	○	○	○	○		
2-3	福祉	いこいの日事業	厚生部	区民相互の交流を深めるため、年4回いこいの日を実施、これに併せていきいき体操も実施	○	○	○	○	○		
3-1	防災・防犯・交通	災害時要支援者マップ作成事業	防災部	災害時、支援を必要とする障害者や高齢者に素早く対応できるようマップを作成する。また作成後は毎年見直しを図る	○	○	○	○	○		
3-2	防災・防犯・交通	防災資器材整備 災害時食料備蓄	防災部	災害時のため、防災資器材整備と食料の備蓄を年次計画で図る	○	○	○	○	○		
3-3	防災・防犯・交通	防災訓練	防災部	災害時、各種行動が素早く円滑に行えるよう年1回防災訓練を実施する	○	○	○	○	○	役場・消防	
3-4	防災・防犯・交通	通学路歩道除雪・融雪事業	総務部	子ども達の安全な通学を確保するため、通学路歩道の除雪・融雪を実施	○	○	○	○	○		
3-5	防災・防犯・交通	防犯灯・交通安全設備の整備検討	防災部	防犯灯や交通安全設備(カーブミラー設置等)について、整備が必要な箇所について整備の必要性を随時検討する。	○	○	○	○	○	役場	
4-1	健康	スポーツ愛好会活性化事業	文化体育部	スポーツ愛好会並びに他サークルの活動を通じた健康増進	○	○	○	○	○		

Ⅶ 第7B区地域計画

(活動計画事業費内訳)

項番	分野	事業名	事業費(千円)					費用負担		主な費用/備考	
			計	6	7	8	9	10	町		地域
1-1	生活環境	挨拶・声掛け運動									
1-2	生活環境	町内会お知らせ版発行	25	5	5	5	5	5	○	○	
1-3	生活環境	ゴミ出し対策	50	10	10	10	10	10	○	○	
1-4	生活環境	道路一斉清掃	50	10	10	10	10	10	○	○	
1-5	生活環境	子ども会廃品回収									
1-6	生活環境	夏祭り	1,750	350	350	350	350	350	○	○	
1-7	生活環境	集会所設備更新	620	100	100	320	50	50	○	○	
2-1	福祉	高齢者・障害者見守り・声掛け運動									
2-2	福祉	敬老会事業	2,000	400	400	400	400	400	○	○	
2-3	福祉	いこいの日事業	500	100	100	100	100	100	○	○	
3-1	防災・防犯・交通	災害時要支援者マップ作成事業	280	20	20	200	20	20	○	○	
3-2	防災・防犯・交通	防災資器材整備 災害時食料備蓄	500	100	100	100	100	100	○	○	
3-3	防災・防犯・交通	防災訓練	400	80	80	80	80	80	○	○	
3-4	防災・防犯・交通	通学路歩道除雪・融雪事業	90	10	20	20	20	20	○	○	
3-5	防災・防犯・交通	防犯灯・交通安全設備の整備検討									
4-1	健康	スポーツ愛好会活性化事業	150	30	30	30	30	30	○	○	
		計	6,415	1,215	1,225	1,625	1,175	1,175			

Ⅷ 第7B区地域計画

(施設計画)

項番	図面番号	事業種別	優先順位	路線名・箇所名等	目的と計画内容	規模等	事業実施スケジュール(年度)					備考	
							6	7	8	9	10		
1	①	横断管渠改修工事	1	船岡東4丁目4-7-1地先	20年近くに亘り横断管渠が潰れている為に上流部に雨水が滞留し衛生環境が悪化している。	N=1ヶ所	○ 工事						
2	②	側溝新設工事	4	船岡東4丁目5-14地先	道路両側に側溝が無い為、降雨時に雨水が道路と敷地に湛水する。	側溝新設 L=50m	○ 調査	○ 設計	○ 工事	○ 工事			
3	③ ④ ⑤	カーブミラー設置工事	3	東2丁目15-12地先 東4丁目17-3地先 東4丁目16-49地先	家屋が建設され視界が変化するためカーブミラーを片側追加し両側の視界を確保する。	N=3ヶ所		○ 工事					
4	⑥ 他	防犯灯・交通安全設備の整備	2	東4丁目16-42地先 第7B区地内	歩行者や自転車の安全のため、防犯用の追加整備や灯具交換、交通安全設備について、必要に応じて整備する。	—	○ 工事	○	○				⑥以外整備の必要に応じて実施
5	⑦	狹隘道路改修工事	6	町道船岡東26号線	道路幅員が狭く、側溝が旧来の農業用側溝であることからVS側溝で改修し、幅員を確保して車両交通を容易にする。	W=3.3~7.5m L=201.8m			○ 調査	○ 設計	○ 工事		
6	⑧	狹隘道路改修工事	5	町道船岡東27号線	道路幅員が狭く、側溝が旧来の農業用側溝であることからVS側溝で改修し、幅員を確保して車両交通を容易にする。	W=3.3~6.5m L=212.1m		○ 調査	○ 設計	○ 工事	○ 工事		

IX 第7B区地域計画

(施設計画事業費内訳)

項番	図面 番号	事業種別	優先 順位	路線名・箇所名等	事業費（千円）					費用の負担		主な費用／備考		
					計	6	7	8	9	10	町		地域	
1	①	横断管渠改修工事	1	船岡東4丁目4-7-1 地先	1,000	1,000						○		集水桝2カ所 横断管渠L=3m 舗装復旧A=6㎡ 計1,000千円
2	②	側溝新設工事	4	船岡東4丁目5-14 地先	3,000			2,000	1,000			○		可変勾配側溝40千円×50m 舗装工事1,000千円
3	③ ④ ⑤	カーブミラー設置工 事	3	東2丁目15-12地先 東4丁目17-3地先 東4丁目16-49地先	300		300					○		カーブミラー1ヶ所100千円
4	⑥ 他	防犯灯・交通安全 設備の整備	2	第7B区地内	—	200						○	○	整備の必要に応じて事業費を計上
5	⑦	狭隘道路改修工事	6	町道船岡東26号線	13,000			3,000	5,000	5,000		○		調査設計3,000千円 可変勾配側溝40千円×403m 舗装工事15千円×3.0m×202m 以後継続事業
6	⑧	狭隘道路改修工事	5	町道船岡東27号線	18,000		3,000	5,000	5,000	5,000		○		調査設計3,000千円 可変勾配側溝40千円×424m 舗装工事15千円×3.0m×212m 以後継続事業
		計			35,300	1,200	3,300	10,000	11,000	10,000				

施設計画位置図 (NO.1)

